

第 43 回有害・医療廃棄物研究講演会のご案内

特別企画:「廃棄物の不適正処理対策」

オンライン配信

有害・医療廃棄物研究会

環境保全を前提とした適正処理による資源循環の必要性が高まっている中、今なお不適正処理は後を絶ちません。

事業者責任の徹底及び不適正処理業者の排除が進み、資源循環的利用を図った上で、適正な処分も確保される必要性があることから、環境省には現在、制度の見直しが検討されている点を解説頂きます。

また一般講演では、廃棄物処理における有害物質管理の在り方について、処理過程における事故の未然防止、環境上適正な処理及び再生利用を担保するために必要な情報とは何か、また情報伝達の在り方と廃棄物の取り扱いの重要性について説明して頂きます。ぜひご参加下さい。

1. ライブ中継の日時: 2025 年 9 月 11 日(木) 14:00~16:30

オンデマンド配信: 9 月 16 日(火)~10 月 15 日(水)

2. 定員: 100 名

3. ライブ中継・オンデマンドサービスの事前登録申込締切: 9 月 9 日(火)

4. 参加費: 本研究会会員と後援団体会員 6,000 円/非会員 12,000 円 (消費税込)

5. 主催: 有害・医療廃棄物研究会 ※本会は現在、インボイス制度に対応した登録事業者ではありません。

6. 後援: (一社)廃棄物資源循環学会、(公社)日本医師会、(公社)全国産業資源循環連合会、

(公財)廃棄物・3R 研究財団、(公財)産業廃棄物処理事業振興財団 (依頼中)

7. プログラム:

総合司会 藤原 悌 (研究会学術部会・企画担当)

14:00-14:05	開会挨拶 有害・医療廃棄物研究会 会長 田中 勝
14:05-14:35	会長講演「廃プラスチック問題とその対応 続編」 有害・医療廃棄物研究会 会長/ 株式会社廃棄物工学研究所 所長/岡山大学名誉教授 田中 勝
14:35-15:05	基調講演「今後の廃棄物処理制度の検討に向けた中間取りまとめ」 環境省 環境再生・資源循環局廃棄物規制担当参事官室 有害廃棄物処理推進調整官 切川 卓也
15:05-15:15	〈 休 憩 〉
15:15-15:45	一般講演「廃棄物情報の共有・伝達における『化学』の重要性」 神戸環境クリエイト株式会社 研究室 早川 健一
15:45-16:15	一般講演「医療関係機関等における感染性廃棄物の安全不十分な排出に至る機序」 株式会社日本シルバー 代表取締役/ 東京都産業資源循環協会 医療廃棄物委員会 委員 杉本 大輔
16:15-16:25	質疑応答
16:25-16:30	閉会挨拶 有害・医療廃棄物研究会 副会長 木ノ本 雅通

※プログラムは都合により予告無しに変更することがございますのでご了承ください。

申込方法: 指定の申込書に記入の上、メール又は FAX にてお送りいただくと共に下記口座まで
参加費をお振込みください。(恐縮ですが振込手数料はご負担下さい)。

振込先 : みずほ銀行 渋谷支店 (普) 2 6 4 4 9 0 1 (口座名義: 有害医療廃棄物研究会)

参加方法: 参加者には、Zoom の接続方法および講演要旨のダウンロード方法等をメールにて別途
お知らせいたします

問合せ先: 有害・医療廃棄物研究会 事務局(担当: 仁田・鹿子木)

E-mail: iken@tiara.ocn.ne.jp (Tel 03-5789-2062 Fax03-5789-2063)

第 43 回有害・医療廃棄物研究講演会

特別企画：「廃棄物の不適正処理対策」

会長講演：「廃プラスチック問題とその対応 続編」

有害・医療廃棄物研究会 会長/株式会社廃棄物工学研究所 所長/岡山大学名誉教授 田中 勝

1. 世界で取り組む「循環型社会の構築」
2. 容器包装リサイクル法と循環型社会形成推進基本法
3. 都市ごみ中のプラごみの分別収集とリサイクルへの取り組み自治体
4. 3R イニシアティブについて、4. OECD の世界の「都市ごみ排出量とその処理」
5. 廃プラの分別収集とリサイクルの弊害
6. 生産者が出来るサーマルリサイクルへの誘導

基調講演「今後の廃棄物処理制度の検討に向けた中間取りまとめ」

環境省環境再生・資源循環局廃棄物規制担当参事官室 有害廃棄物処理推進調整官 切川 卓也

平成 29 年廃棄物処理法改正後、中央環境審議会循環型社会部会廃棄物制度小委員会において、「ヤード環境対策検討会」、「PCB 廃棄物適正処理推進に関する検討委員会」、「災害廃棄物対策推進検討会」における技術的観点から行われた各課題の検討結果を踏まえ、今後の廃棄物処理制度の検討の方向性を取りまとめた。その内容について説明する。

一般講演「廃棄物情報の共有・伝達における『化学』の重要性」

神戸環境クリエート株式会社 研究室 早川 健一

廃棄物処理においては、対象廃棄物に関する適切な情報を、排出者から処理者へ伝えることが重要である。しかし、演者の経験では、この情報の共有・伝達は意外と難しい(うまくいっていない)。排出者が提供する情報と処理者が必要とする情報に、考え方のギャップがあると感じる。廃棄物処理は化学反応であるので、化学の観点で書かれた性状の情報が必要となる。産業廃棄物の焼却処理業者の立場から、「廃棄物処理に必要な情報とは」について説明する。

一般講演「医療関係機関等における感染性廃棄物の安全不十分な排出に至る機序」

株式会社日本シルバー 代表取締役/東京都産業資源循環協会 医療廃棄物委員会 委員 杉本 大輔

医療関係機関等より発生する感染性廃棄物は、未だ安全排出基準に満たない事象が多い。本講演では危険排出事象に至るメカニズムに関し、先般、廃棄物資源循環学会誌に発表された最新の科学的知見を基に解説を行う。また東京都産業資源循環協会 医療廃棄物委員会としての対応、併せて東京都医師会/東京都環境局を通じての医療関係機関等への啓発活動を紹介する。感染性廃棄物に係わる事故の未然防止、環境への負荷低減、ならびに不適切な排出に伴って医療関係機関等が負う可能性がある「排出事業者責任」のリスク低減を目的とした策を提言する。